

3 - 1 1 関東地域における三成分ひずみ計及び IBOS による最近の観測結果 (1998 年 5 月 ~ 1999 年 4 月)

Results of Continuous Observation by Three-Component Strainmeters and IBOSes in Kanto District(from May, 1998 to April, 1999)

防災科学技術研究所

National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

前報¹⁾に引き続き、最近の観測結果について報告する。

第 1 図及び第 2 図は、八郷 1 号機及び 2 号機による、1998 年 5 月からの最近 1 年間のひずみ変化を 6 か月間毎に表したものである。第 3 図は甲府による同様のものである。前回と同様に今回もひずみ変化の観測結果を直接表示している。E1D, E2D, E3D 及び DIL, SMAX の意味については以前の連絡会報²⁾を参照してほしい。

八郷 1, 2 号機においては、今までと同様に、ほぼ一様な収縮が継続している。なお、第 2 図下部からは、観測が軌道に乗った傾斜のデータを併記するようにした。この傾斜計はレーザひずみ計と共に、2 号機孔井のごく近傍の深さ 100m の孔井底に設置されている。2 月上旬の傾斜 2 成分の変動は興味深い原因は不明である。また傾斜 N S 成分は EW 成分に比較して、降雨による影響を大きく受けるようである。

甲府では、全体としては収縮が継続している。9 月の降雨の影響が著しい。

第 4 図、第 5 図及び第 6 図は、玄倉、平塚及び真鶴の IBOS による最近 1 年間の観測結果である。降雨の影響が玄倉において著しいのは、いつものことであるが、今回は 8, 9, 10 月の降雨量が例年になく大きかったので、その影響からの回復過程が、11 月から翌 3 月にかけてのゆったりとした変動に顕著に現れている。

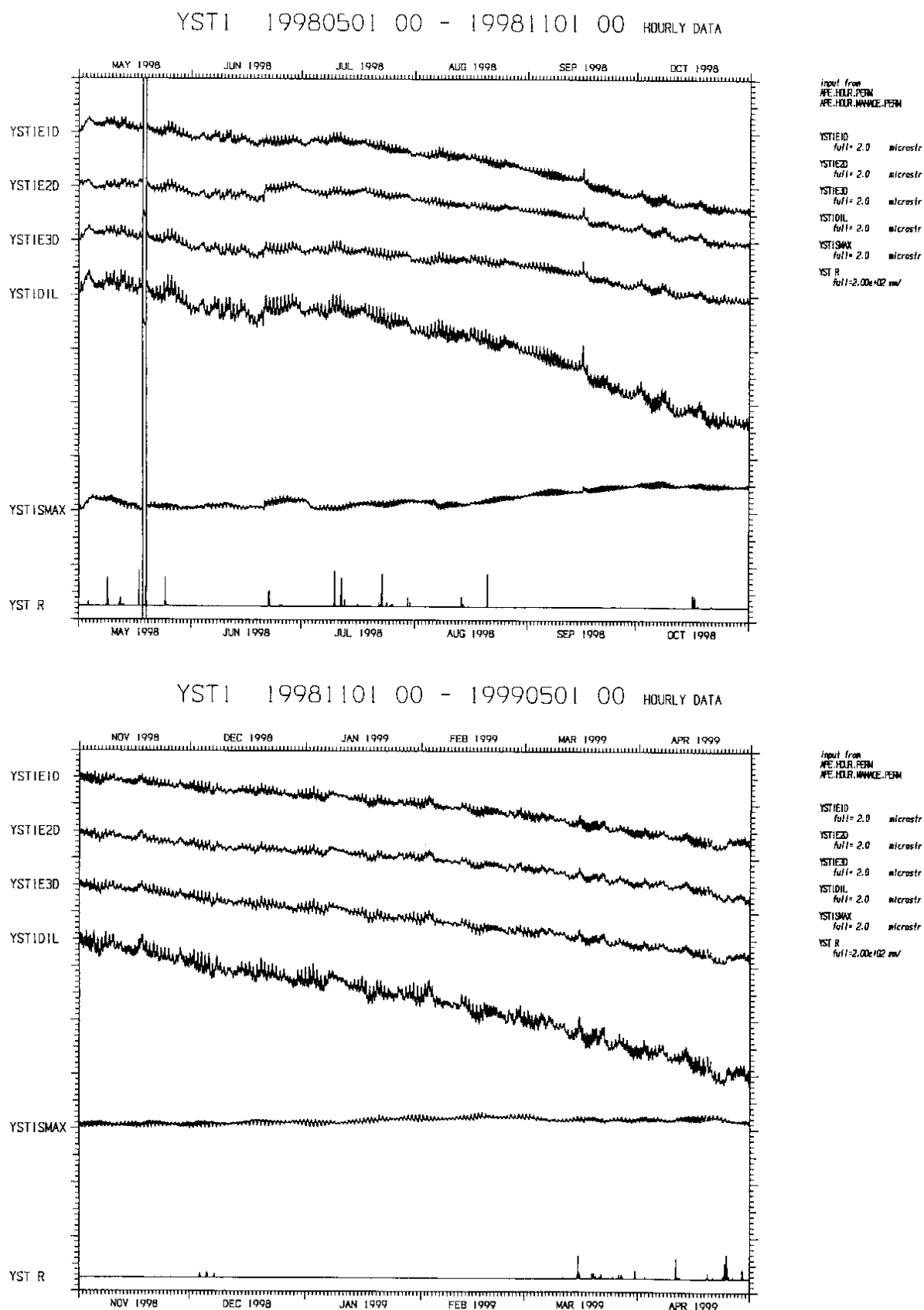
平塚においても、昨秋にひずみと傾斜が大きな変化を示しているが、降雨と気圧変化によるものである。

真鶴ではひずみ計が、ほぼ一様かつ他に比して大きな圧縮を受けてきていることは今までどおりである。収縮の速さが、時の経過とともに減少してきていることがよく分かる。二次クリープ(定常クリープ)が卓越する段階に入ったとはいえ、一次クリープによる変動もまだ認められる。なお以前までは、傾斜のステップが不規則に見られたが、今回からはデータ処理段階でステップを補正するようにしたので、滑らかな変化曲線が得られている。大きな変動は海況の変化によるものかも知れない。

(坂田正治)

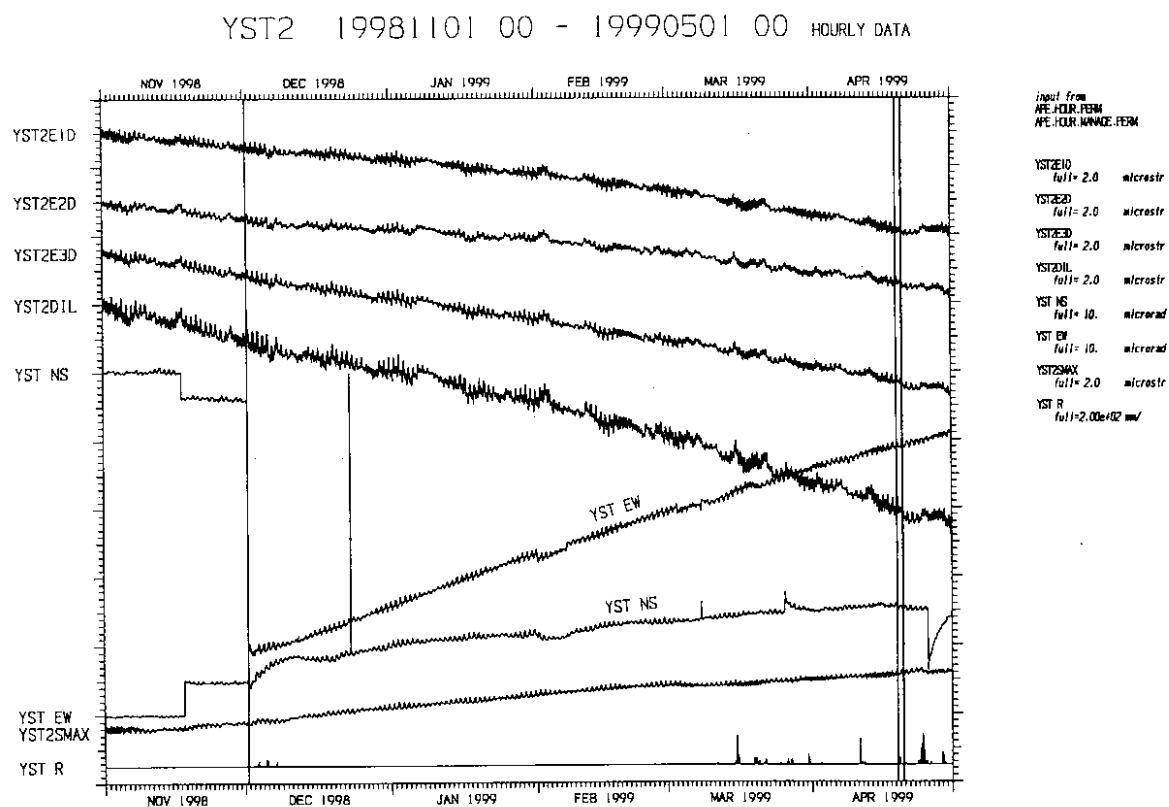
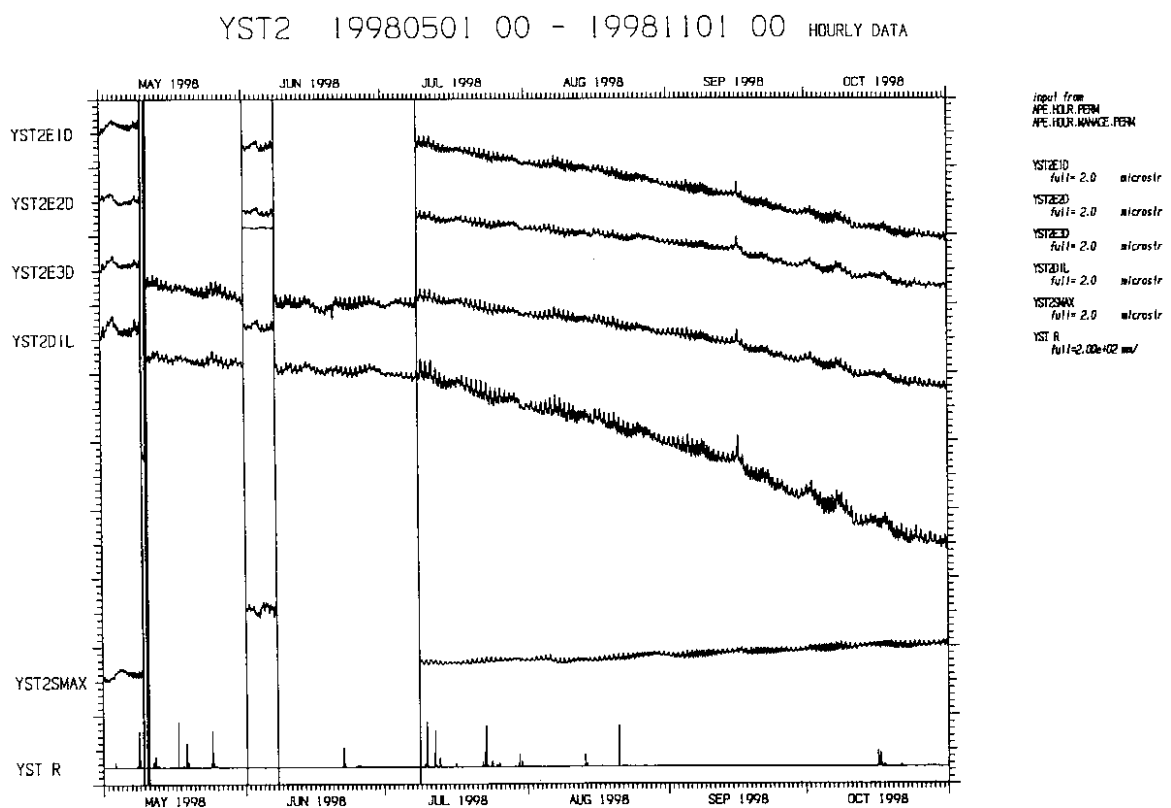
参 考 文 献

- 1) 防災科学技術研究所：関東地域における三成分ひずみ計及び IBOS による最近の観測結果 (1997 年 10 月 ~ 1998 年 4 月まで)，連絡会報，60(1998)，217-220。
- 2) 防災科学技術研究所：関東地域における三成分ひずみ計及び IBOS による最近の観測結果 (1994 年 3 月まで)，連絡会報，52(1994)，199-206。



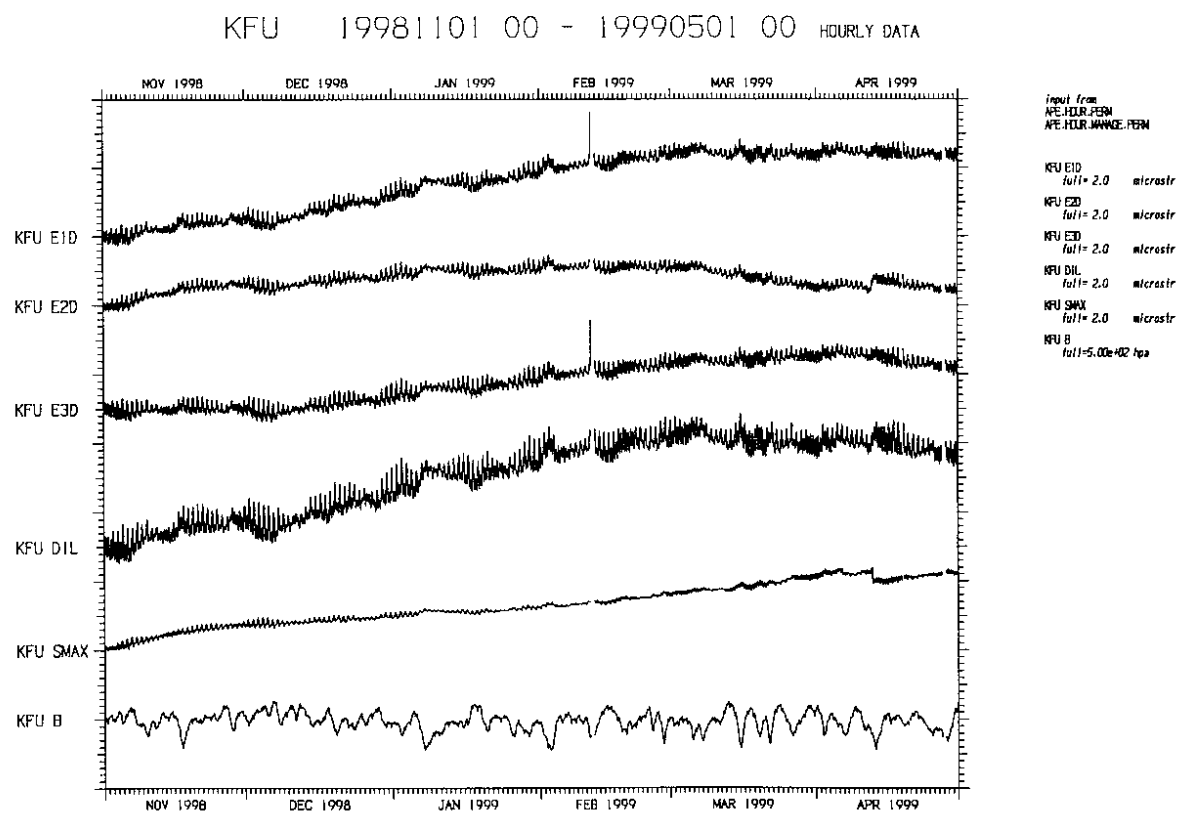
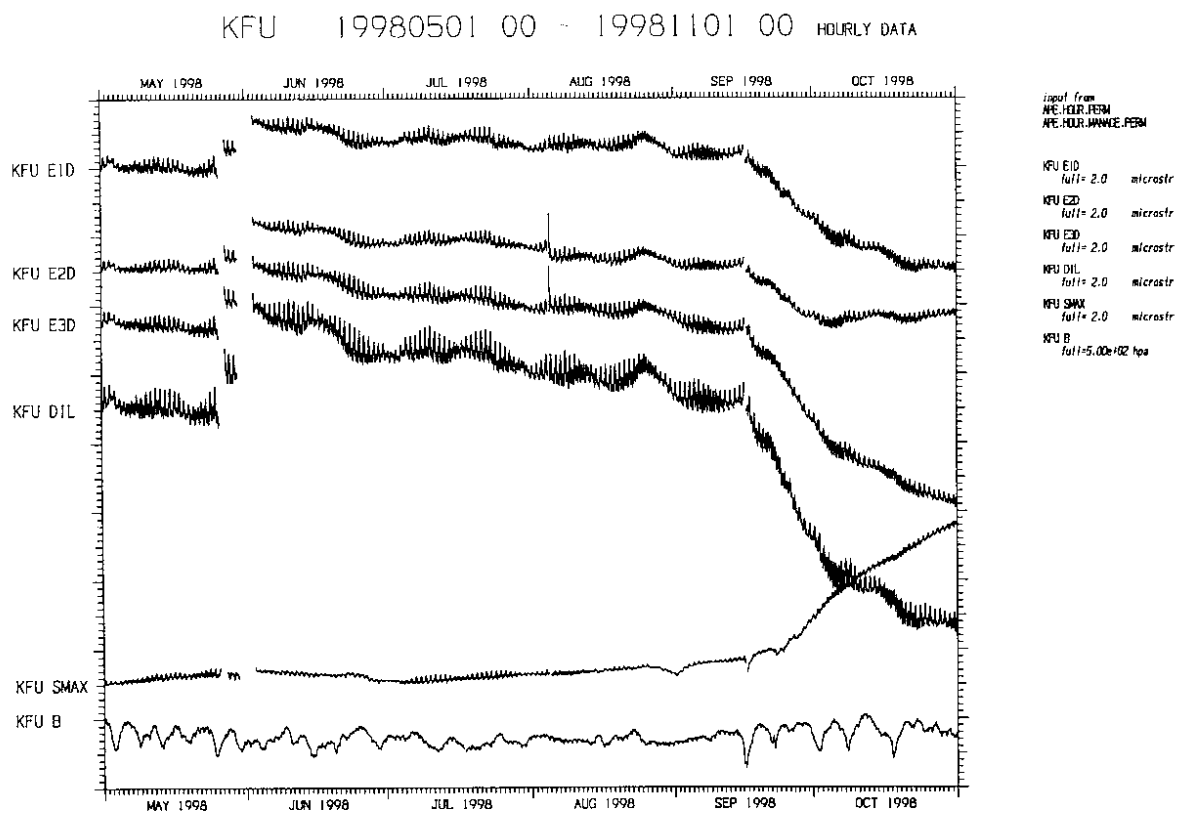
第 1 図 八郷の三成分ひずみ計 1 号機による連続観測結果 (1998 年 5 月 ~ 1999 年 4 月)

Fig.1 Record of continuous observation by No1 three-component strainmeter at Yasato, E1D, E2D, E3D: linear strains along N00E, N60E, N120E, DIL: dilatation, SMAX: maximum shear, R: precipitation.



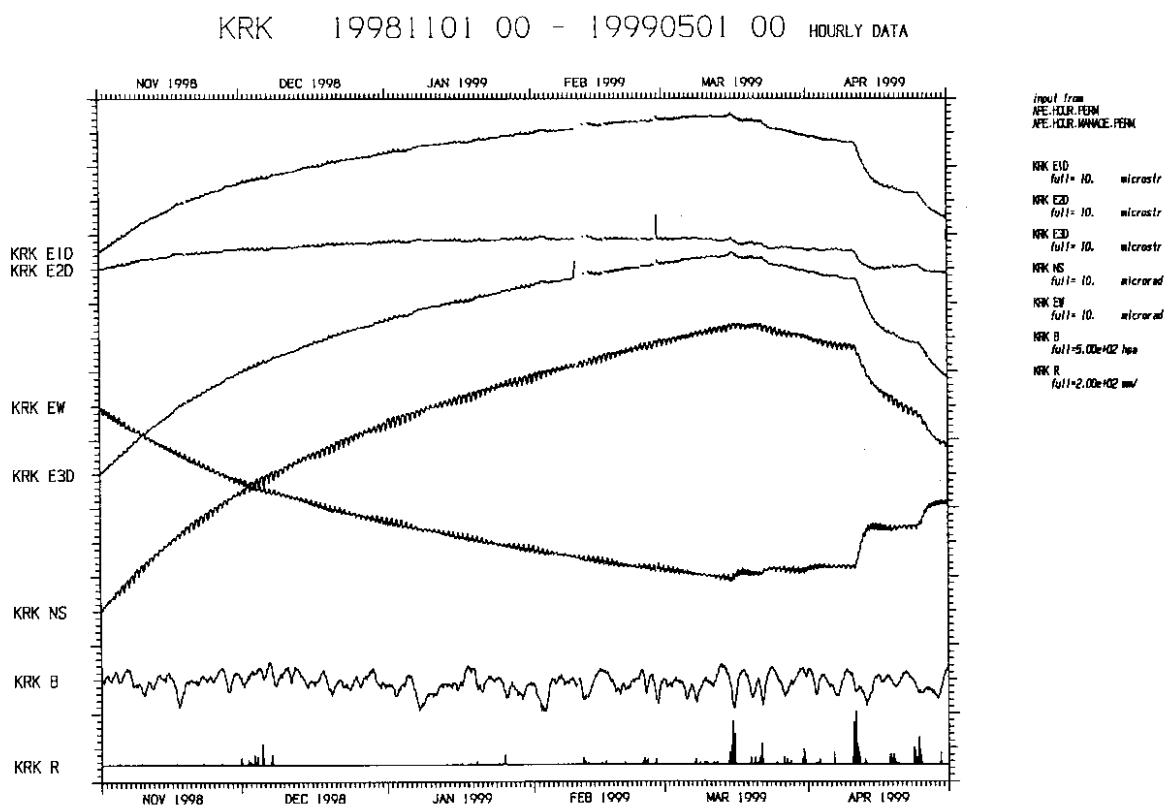
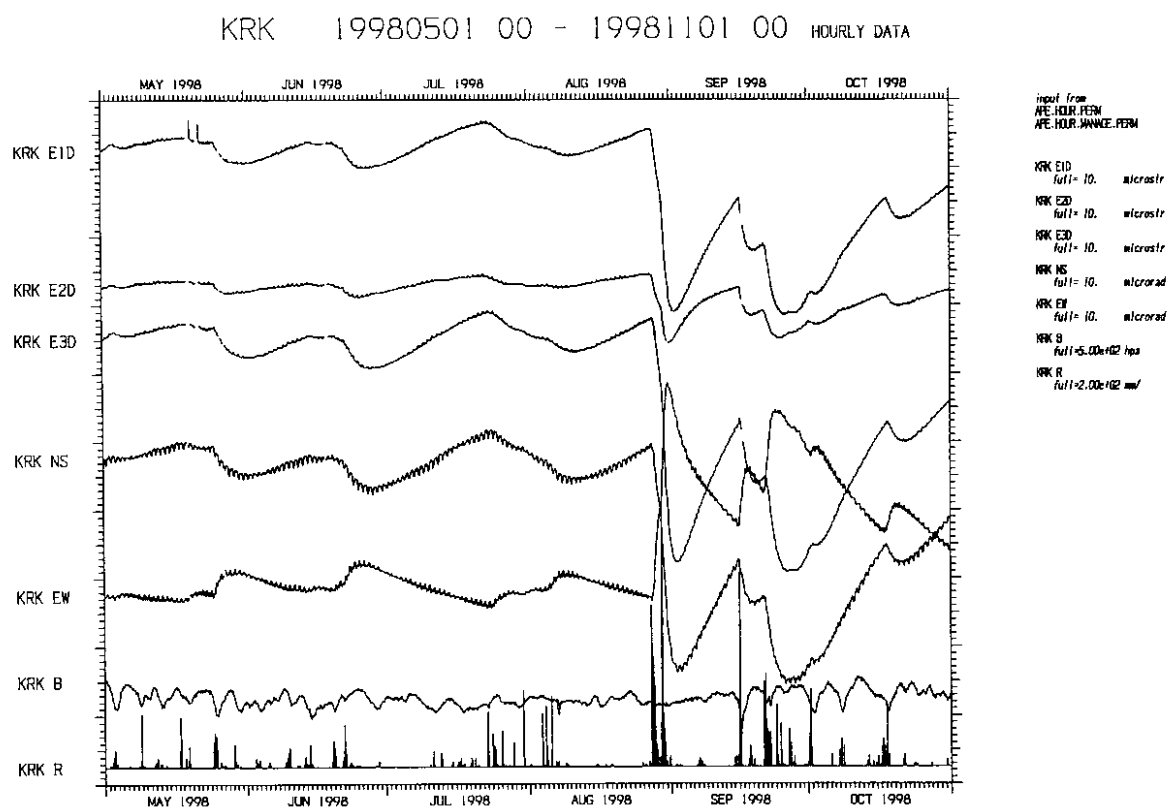
第 2 図 八郷の三成分ひずみ計 2 号機及び傾斜計による連続観測結果 (1998 年 5 月 ~ 1999 年 4 月)

Fig.2 Record of continuous observation by No2 three-component strainmeter and a tiltmeter at Yasato, NS,EW: tilt components.



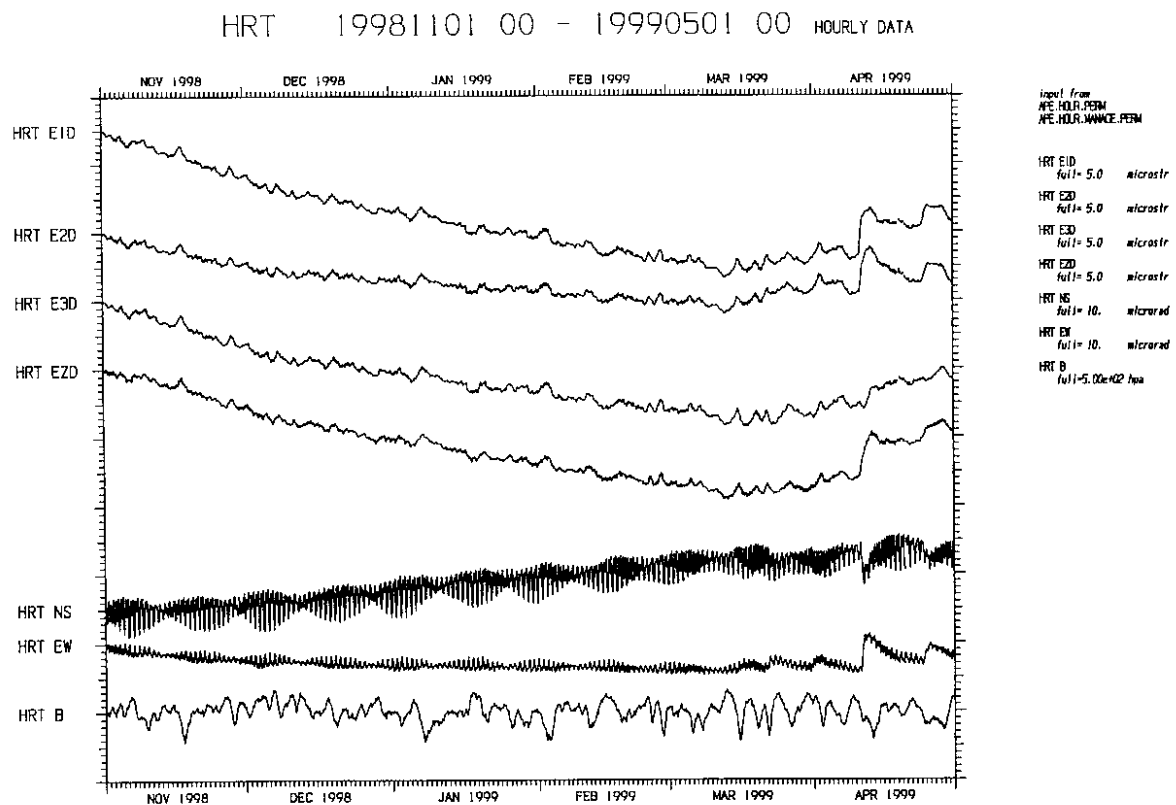
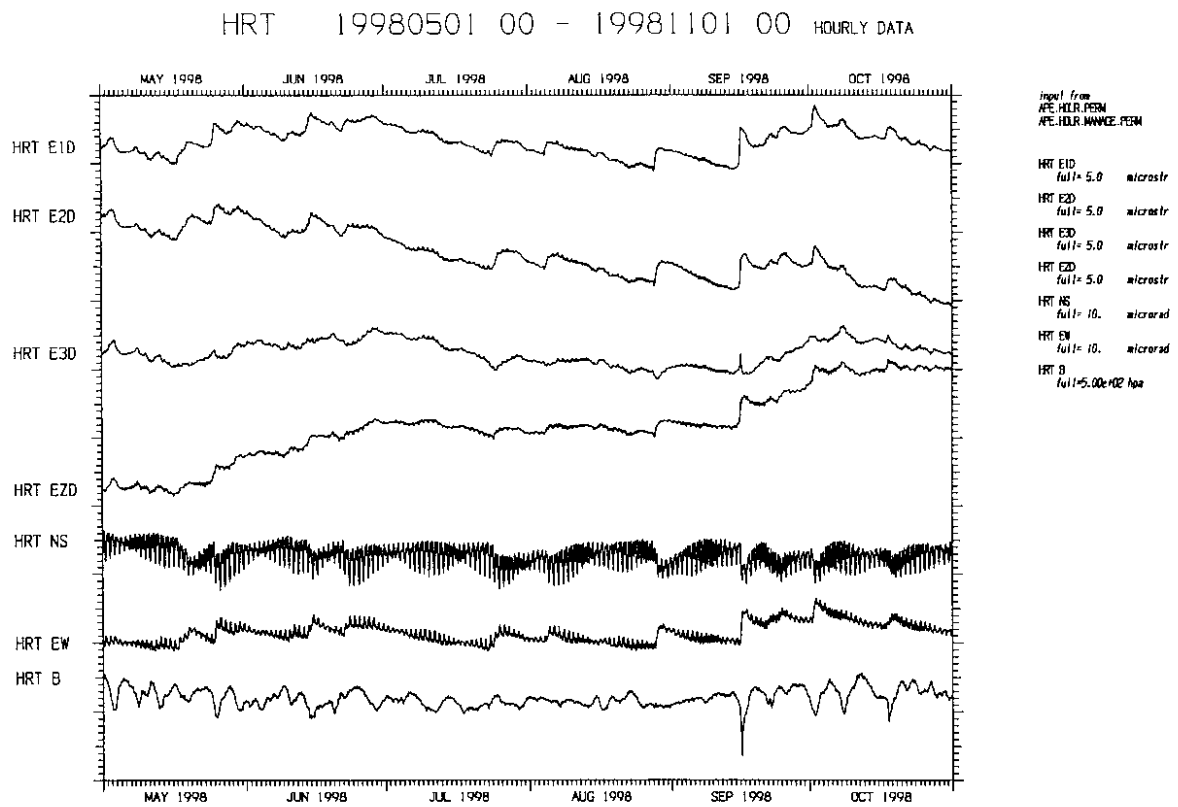
第 3 図 甲府の三成分ひずみ計による連続観測結果 (1998 年 5 月 ~ 1999 年 4 月)

Fig.3 Record of continuous observation by the three-component strainmeter at Kofu, B: atmospheric pressure.



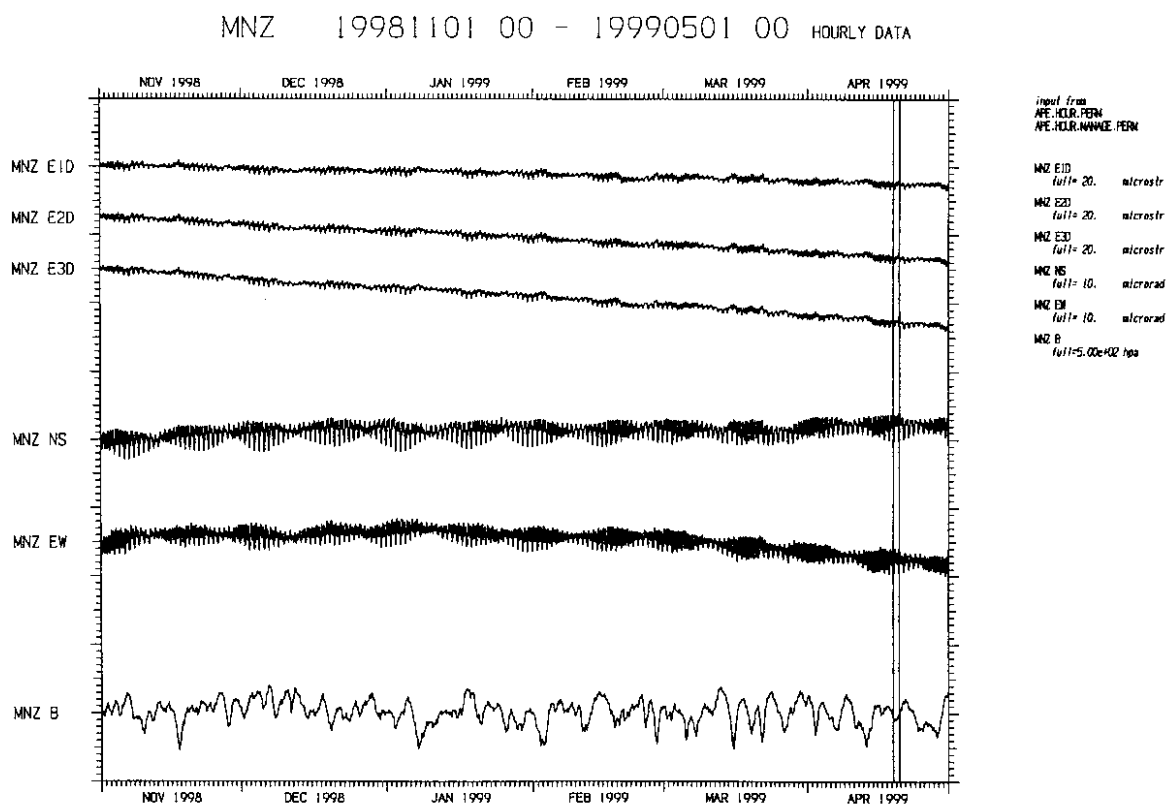
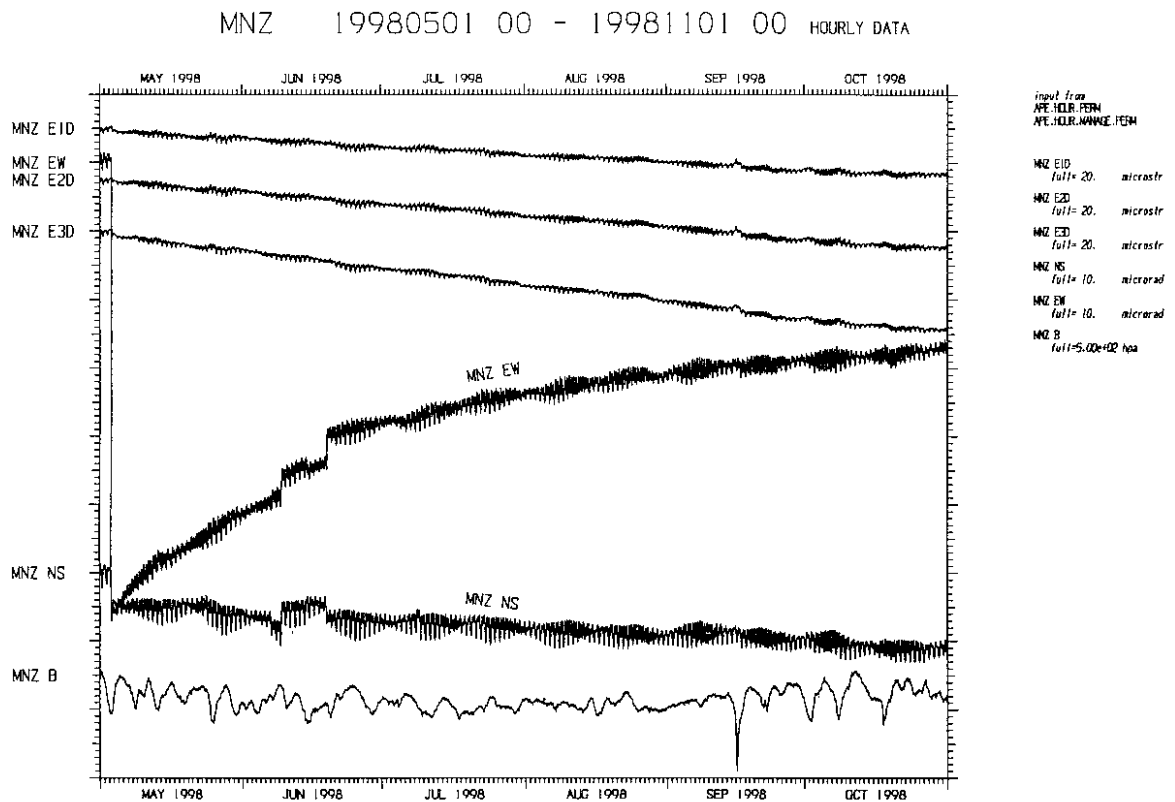
第4図 玄倉のIBOSによる連続観測結果(1998年5月~1999年4月)

Fig.4 Record of continuous observation by IBOS at Kurokura.



第 5 図 平塚の I B O S による連続観測結果 (1998 年 5 月 ~ 1999 年 4 月)

Fig.5 Record of continuous observation by IBOS at Hiratsuka, EZD: vertical strain detected by axial strainmeter.



第6図 真鶴のIBOSによる連続観測結果(1998年5月~1999年4月)

Fig.6 Record of continuous observation by IBOS at Manazuru.